

# ニホンアミカモドキ

## ハエ目アミカモドキ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

*Deuterophlebia nipponica* Kitakami

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

### 選定理由

本州、九州でわずかの分布地が知られているだけで、著しく減少しているとみられている。また世界的にもごくわずかの種しか存在しない特異なハエ目昆虫で、学術的にも貴重である。

### 形態

体長1.8~4.0mmで細長く、体色は暗褐色。単眼を欠く。翅は非常に幅広く、また薄くて網目状のシワが走っており、翅脈が退化している。口も退化していて、成虫になってからは餌をとらない。脚は細長く、ほとんど歩くことはできない。オスの触角は非常に長く、体長の3倍に達する。

### 国内分布

本州と九州に分布する。

### 県内分布

1971年10月に白山市小嵐谷（手取ダム右岸）で幼虫1個体が採集された記録がある。

### 生態

幼虫は山地溪流の急流部の石上に生息する。成虫は数時間の寿命しかなく、野外では容易に見えない。オスの出現はまれで、単為生殖の可能性も示唆されている。

### 生息地の条件

水のきれいな山地溪流の存在が必要である。夏の水温が18℃以下、秋の水温が4℃以上の川に生息するという調査例がある。

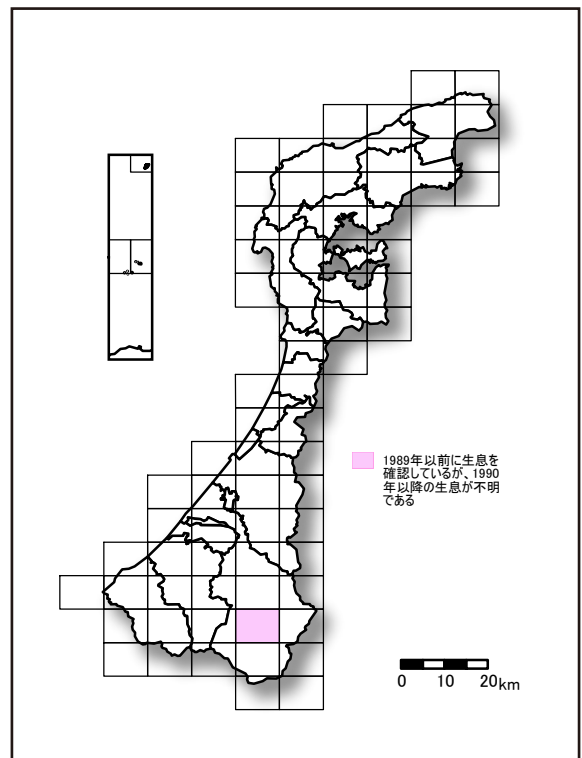
### 生存の危機

溪流の土石流や林道建設で溪流環境が悪化すると絶滅する恐れがある。かつては京都周辺の溪流でも多産していた所があったが、溪流環境の悪化で、現在は全国的にも少数の幼虫が採集されているのみといわれる。(A)

### 参考文献

- 谷田一三 1975. 白山周辺の河川における水生昆虫目録(1). 白山自然保護センター研究報告, 第2集: 65-75.  
西尾規孝 2001. ニッポンアミカモドキの生活史. まつむし, (91): 83-89. まつもと虫の会誌.  
林 利彦 2006. ニホンアミカモドキ. 改訂・日本の絶滅のおそれある野生生物 昆虫類(環境省編), 139pp. 自然環境センター. 東京.

写真(図)はありません。



県内の分布